

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)デュオ愛甲石田新築工事	階数	地上11F
建設地	伊勢原市石田字桐木819-1外7筆	構造	RC造
用途地域	準工業、準防火地域	平均居住人員	147 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月	評価の実施日	2013年3月14日
敷地面積	1,527 m ²	作成者	株式会社 長尾設計
建築面積	352 m ²	確認日	2013年3月14日
延床面積	3,472 m ²	確認者	株式会社 長尾設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 91%
上記+: 91%
上記+: 91%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建物利用者の快適な生活環境を維持する為、遮音性や断熱性を高めると共に環境への配慮として、省エネルギー性を高めた建物とした。また周辺地域へ悪影響がないように外装にも配慮し、敷地内にはできる限りの緑化を計画した。		
Q1 室内環境 隣戸間における生活騒音の配慮として、遮音性を高めている。	Q2 サービス性能 情報通信社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう、大容量ブロードバンドを設けている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に合わせて外装材を選定し、できる限りの緑化を設けている。
LR1 エネルギー 住戸内の断熱性を高めて熱負荷の抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材を分別しやすくするように配慮している。	LR3 敷地外環境 周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される